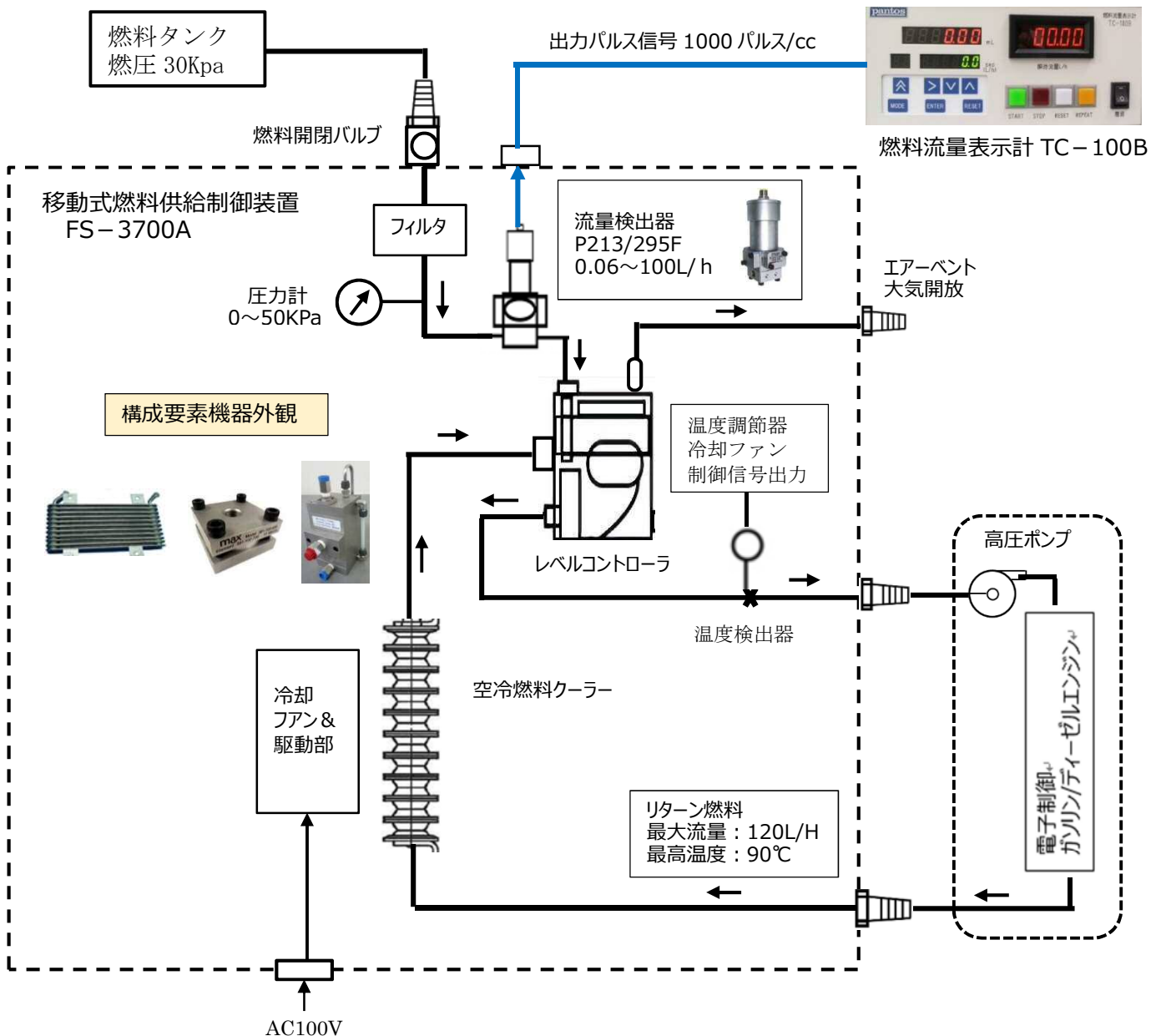


■ 燃料供給計測システム実用例(A)

燃料タンク設備にリターンラインが無い場合に、電子制御コモンレール式ディーゼルエンジンの燃料消費量計測をリターン燃料処理タンク（燃料レベル制御再循環タンク）と空冷式燃料クーラーを使用した構成で、リターン燃料を効率よく冷却しながら 1 台の流量計で高精度な正味燃料消費量の計測が可能システムです。



■ 構成要素機器

	名称	内容	備考
1	リターン燃料処理タンク	レベル制御燃料再循環タンク	米国 MAX 社製 型式 370-175 ステンレス構造
2	空冷燃料クーラー	空冷式総アルミニウム製	リターン燃料冷却クーラー特型
3	流量検出器	容積式 4-ラジアルピストン式	米国 MAX 社製 P213/295F
4	燃料フィルタ	ステンレス製フィルタ 10 ミクロンエレメント	米国 MAX 社製 MODEL 381
5	冷却ファン	可変速プロペラファン	オリエンタルモーター
6	圧力計	ブルドン管圧力計	供給燃料圧力表示 0~50Kpa
7	温度検出器	白金測温抵抗体 100ΩB クラス	エンジン供給燃料温度検出
8	温度調節器	燃料温度表示/温度制御	温度調節器 キーエンス TF4-10
9	燃料接続用入出力詮	ステンレスニップル φ9	燃料入出力供給及びバント接続
10	燃料開閉バルブ	供給燃料開/閉バルブ	レディーシドウィングバルブ
11	燃料流量表示計	瞬時流量/積算流量/積算時間計測	MODEL TC-100B パントス製